

# 2021年度 事業報告書

2021年4月 1日から

2022年3月31日まで

学校法人 聖晋学園

## 1. 法人の概要

名称 学校法人 聖晋学園（昭和54年3月20日法人設立）

代表者 理事長 安達 巡

住所 大阪市淀川区西三国3丁目17番32号

電話 06-6392-2525

FAX 06-6392-9221

設置する学校 住所 大阪市淀川区西三国3丁目17番32号

名称 認定こども園 みくにひじり幼稚園

名称 みくにひじり保育園

役員 理事 6名 監事 2名

評議員 14名

理事会 2回開催 評議員会 2回開催

職員 56名（認定こども園 38名、保育園 18名）

## 2. 事業の概要

（ 認定こども園みくにひじり幼稚園 ）

【教育方針】 子どもらしい子ども、明るくたくましくやさしい情緒豊かな子ども達に育てることを目標としています

【教育内容】 自由遊び、クラス活動ともに発達年齢や「興味・意欲・関心」を、重視した保育活動を展開。週に1回はオープンシステム、運動、図書貸し出しなど。徒歩による登降園や遠足・散歩を通して「歩く」ことに力を入れています。

1号・2号子ども

	3歳児		4歳児		5歳児		クラス数計	園児数計
	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数		
定員	3	81	3	105	4	105	10	291
2020年度	4	105	3	104	3	104	10	313
2021年度	4	89	3	90	3	106	10	285
2022年度	3	82	3	87	3	90	9	259

【保育時間】 月～金曜日 午前9時～午後2時（水曜日は午後1時まで）  
土曜日 自由保育（午前9時～午前11時）

【公定価格】 利用者負担金 無償化により1号、2号とも徴収なし

【上乗せ徴収】 教育充実費（1号） 月額4,000円

教育充実費（2号） 月額6,000円

【実費徴収】 給食費（1号）主食費／月額1,500円・副食費／月額3,500円

給食費（2号）主食費／月額3,000円・副食費／月額4,500円

母の会 月額900円

遠足等行事費 実費を徴収

卒園アルバム 実費を徴収

用品代 実費を徴収

- 【その他の費用】 入園手数料 10,000円  
 施設整備費 3・4才児 60,000円  
 5才児 50,000円
- 【預かり保育】 早朝保育 7:30～  
 月～金曜日 14:00～19:00  
 土曜日 8:00～17:00（年未年始・お盆を除く）
- 【行事实施状況】 春の遠足、参観、プール、七夕週間、敬老保育参加週間、運動会、  
 宿泊保育、いもほり、くりひろい遠足、子どもカーニバル、もちつき、  
 クリスマス会、お別れ観劇会、ひなまつり
- 【施設関係】 園地面積 1,902.2㎡ 運動場面積1,128.6㎡  
 木製コンビネーション遊具、砂場、飼育小屋、図書室、給食室、プール、  
 子育て相談室、152㎡の遊戯室  
 外部塗装、防水工事等を実施。
- 【設備関係】 園児用テーブル、図書の購入。ピアノの調律。

（ みくにひじり保育園 ）

- 【保育方針】 よく考え、よく見つめる  
 よく食べ、よく遊び、健康に過ごす  
 友達と元気に仲良く遊ぶ
- 【保育内容】 担当制保育の中で、日課を大切にしたい、家庭的な保育を行っています。  
 また、「自分は大切な存在」という自己肯定感を乳幼児期に築いていけるように、一人ひとりの個性を大切にして関わっています。
- 【保育時間】 月～金曜日 7:30～19:00  
 土曜日 8:00～17:00（年未年始・お盆を除く）

【園児数】

保育所 定員30人	0歳児	1歳児	2歳児	園児数計
	園児数	園児数	園児数	
2020年度	3	12	14	29
2021年度	3	12	14	29

- 【実費徴収】 用品代 実費を徴収  
 行事費 実費を徴収

（ 子育て支援事業 ）

- 2歳児プレイルーム
- 一時預かり『ぷち』
- ひじり広場
- レインボー講座

### 3. 事業報告

#### 【工事の報告】

園舎外壁・防水パン塗装工事、夏休み中に無事に終了。雨漏り等の不具合が無くなった。

#### 【園運営について】

園児獲得に向けてここ数年、2歳児プレイルームのコース構成を工夫してきたところ、5日コースを選んだ場合、誕生日がくると保育料が無償になるという、制度の理解が広く浸透してきたためか、5日コースの希望者が一気に増えてきた。

(2020年は2名・昨年12名・今年度18名)

ただし今年度より、2歳児プレイルームの定員を増やす(42名から45名に)予定をしていたところ、2歳児自体の定員割れが起こってきた。(現在40名)そのため急遽、連携施設の受け入れ枠を3名から7名に増やすことにした。

なお園児減少は本園だけの問題でなく、社会的に大きな問題である。2021年の出生数は、84万2,897千人となり急激な少子化が進行しており、婚姻数が前年度より12%以上減少していることから、2022年以降は、一層少子化が進み80万人を割り込むことが予想されている。このことから今後はますます園児獲得が厳しい状況になってくるため、選ばれるための工夫だけでなく他事業の展開も含め、広い視点を持ちながら安定経営を目指していきたい。

#### 【保育について】

2021年度も新型コロナウイルスの影響があったため、前年度に引き続き行事等の内容は変更しながらだったが、園児はできるだけふだんどおりに生き活きと過ごせるよう、教職員一同、真摯に保育に取り組んできた。またコロナ禍が始まって以来、保護者との距離が遠くなりがちだったので、クラスだよりの配信等を工夫し、園での子どもの育ちの様子を伝えてきた。

そんな中で、昨年度いちばん苦労した点は、コロナ感染者が一人出る度に臨時休園を繰り返したことで、1年間で臨時休園8回・学級閉鎖2クラス、特に頻繁に感染者が出た3学期が大変であった。(3学期→臨時休園4回・学級閉鎖2クラス)

このような状況が続いた後、年度末にとった保護者アンケートでは、1年間ほとんど保護者が園内に入ることができなかつたにも関わらず、配信・発送文書のみで園の意図や子どもの成長を汲み取ってくださっている回答が多くあったことを、とても嬉しく感じた。もちろん逆に批判的なご意見もあったが、それぞれの内容をよく吟味したうえで、今年度の保育活動の参考にしていきたい。

#### 【財務状況】

財務状況については、事業活動収支計算書より、教育活動収入計が385,277千円(対前年比2.48%、375,959千円)、教育活動支出計377,126千円(対前年比9.57%、344,191千円)、教育活動収支差額8,150千円(前年度31,767千円)、経常収支差額比率2.12%(前年度8.46%)と安定した経営状況を維持することができた。

また、人件費比率(人件費/教育活動収入計+教育活動外収入計)は、62.21%(前年度61.04%)となり、前年度より上昇した。翌年度繰越支払資金は、当年度の保持すべき資金(第4号基本金)の額を相当上回る額の支払資金を保持できているので、資金繰りは問題ない。

### 4. 財務状況

別紙参照。